

## 東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第18回部会）議事概要

- 日時：平成30年11月8日（木）午後7時～8時30分
- 場所：東淀川区役所出張所 3階 多目的室

### 1 開会

### 2 情報提供

- (1) JR東淀川駅の上空に立体横断施設（自由通路）開通について
- (2) 地域カルテについて

### 3 議題

- (1) ワークショップ開催報告等及び意見交換

### ○ 意見交換要旨

#### 【議論のテーマ】

#### (1) JR 東淀川駅の上空に立体横断施設（自由通路）開通について

- ・9月18日に大阪市とJR西日本が共同で行っているJR京都線、東淀川駅上空の立体横断施設の開通、及び、開かずの踏切であった北宮原踏切と、南宮原踏の廃止が11月11日午前1時頃と報道発表。

以上を簡潔に説明。

#### (2) 地域カルテについて

- ①地域活動の補助金、ボランティアの参加人数の割合
- ②街頭犯罪発生件数
- ③西部地域内のJR、阪急の乗降者数
- ④人口分布図
- ⑤全国学力テストの結果

#### (3) ワークショップ開催報告等及び意見交換

地域カルテを参考に地域について以下のような意見が出た。

- ・防災に力を入れている地域でも、作成されたカルテでは防犯と比べて、事業金額やボランティアの参加人数が少なくなっている。
- ・防犯について、定期的に行っている活動が多いため事業金額やボランティア参加人数が防災に比べて大きくなっていると考えられる。
- ・地域によって同じ活動でも事業の項目が違うものがある。
- ・町会で行っている行事は地域活動協議会の行事に含まれていない。名前だけでも地域活動協議会の行事とし、整理することはできないだろうか。

### ◎久教授のアドバイス要旨

- ◇ いろいろな団体の一つとして、地活協という団体がある。本来地活協は、そういう団体をつないでいく団体である。何でもかんでも地活協のリストに挙がっていないと、本当はいけない。こうして示したときに、やっているのに出てきていないということはあってはいけない。どんな活動でも地活協に入れたほうが、かっこいいですよ、みたいな話に持っていければ良い。
- ◇ 地活協の機能は本来の地活協についている交付金でやる部分と、その他の団体全体をつないで、情報を集約する機能と二つある。地活協がそれぞれの団体がどんなことをやっているのかを知っておくのも重要な機能である。地活協のお金でやっている事業が出てきて、ほかの団体もやっているとなったときに、じゃあ一度出し合おうというきっかけになると思う。それを私は事業の棚卸しと言っている。全部出して並べてみたら、別の団体が同じことをしている話も見えてくるきっかけにもなる。まずはそれぞれの団体がどんなことをやっているのかを、お互い知り合う機会としても使えると思う。
- ◇ 地域資源を地域カルテの中に落としてもらおうと、地域によっては施設が少ないなどということも見えてくるかも。
- ◇ 地活協の事業がピックアップされたが、これをきっかけに地活協が地域の中でどういう部分を担っているのか、地活協の位置づけが見えてきたと思う。この地活協だけの事業を取り上げているという限界が、逆に今の地活協の地域の中での位置づけに見えてくるので、そういう見方もしていただければうれしく思う。
- ◇ 町会のほうがお金を持っているから、単独で動いたほうが良いという話があったが、これは他の地域のまちづくり協議会に対するその町の会長の言葉と似ている。その地域のまちづくり協議会は各小学校区で立ち上がって20年以上経つのに地域の中で、まちづくり協議会が認知されていない。町会は町会費が集まっているから何でもできるがまちづくり協議会は市の補助金だけでしか動けないだろうと。
- ◇ 地活協と諸団体の連携が取れているところは、地活協にそれぞれの団体から補助金のようなお金が出ている。だから地活協は交付金だけではなく、それぞれの団体が持ち寄りお金を合わせて、それなりの事業ができています。

○ その他・連絡事項

次回の部会は1月10日（木曜日）午後7時より開催